

第 194 期

# 中間報告書

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

**大東紡織株式会社**

## 目 次

株主の皆様へ	1
企業集団の現況	2
株式の状況	3
従業員の状況	3
四半期連結貸借対照表	4
四半期連結損益計算書	5
四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
会社の概要	7
役員	8
主要商標	8

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第194期第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の営業の概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、公共投資の増加や輸出の持ち直しの動きに加え、雇用・所得環境に一部改善の動きがあることを背景に個人消費が引き続き底堅く推移したことなどから、緩やかな回復を続けております。ただし、輸入企業にとっては円安分の価格転嫁の成否に業績が影響を受ける環境が続いており、また、欧米経済の不確実性も景気下押しリスクとして残る環境でありました。

繊維・アパレル業界におきましては、景気持ち直しの動きに加え、特に8月が記録的な猛暑となったことで夏物商材が比較的好調であったため、9月に台風等天候の悪影響はあったものの、総じて順調に推移しました。ただし、秋物のスタートは猛暑の長期化と台風の影響を受け出遅れる結果となりました。

ショッピングセンター業界におきましては、天候不順の影響と夏物のセール前倒し実施の反動減などが悪化要因となり、夏物前倒しセールを行った6月と猛暑の8月は前年比プラスとなったものの、全体としては前年を上回ることが出来ない結果となりました。

このような状況の中で、当社グループは当期（第194期）から「中期経営計画 Beyond 120th～120周年を超えて未来へ～」をスタートさせ、収益力増強のための「成長戦略」と繊維事業の安定的黒字を確保するための「安定化戦略」への取り組みを進めております。

繊維・アパレル事業につきましては、「成長戦略」に基づく強化事業への取り組み強化を進めましたが、基盤事業のうち生産管理型OEM事業の受注減と採算の低下しているメンズスーツ事業のスリム化を主因に、売上高・営業利益とも前年同期を下回る結果となりました。

不動産事業につきましては、「成長戦略」の主力事業育成方針の下、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」においてテレビCM実施、一部店舗のリニューアルおよび季節毎のイベント実施など引き続き集客力向上に努めたことなどが奏功し、売上高・営業利益とも前年同期を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高34億81百万円（前年同期比6.7%減）と減収となったものの、販売管理費の削減効果もあり営業利益62百万円（前年同期比29.9%減）と前年同期に続き営業黒字を確保し、これに支払利息負担などを加減した結果、経常損失1億5百万円（前年同期は経常損失80百万円）となりました。さらに、法人税、住民税及び事業税等を加減した結果、四半期純損失は1億7百万円（前年同期は四半期純損失95百万円）となりました。

純損失となりましたため、中間配当につきましては見送ることとさせていただきます。株主の皆様には深くお詫び申し上げます。

今後の経済動向に関しましては、来年度の消費増税の影響が懸念されますが、引き続き景気は緩やかに回復していくものと予想されます。

当社グループといたしましては、引き続き「中期経営計画Beyond 120th～120周年を超えて未来へ～」に基づき、グループ一丸となって業績改善に努めるとともに、企業価値の向上を目指して邁進する所存でございますので株主の皆様には一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

取締役社長 国広伸夫

## 企業集団の現況

### 繊維・アパレル事業

衣料部門につきましては、メンズ衣料は採算の低下しているメンズスーツ事業のスリム化を主因に売上高が前年同期を下回りました。レディース衣料は円安に伴う輸入品の価格競争激化により生産管理型OEM事業を始め一部大口先で受注を落としたことなどの結果、売上高は前年同期を下回りました。

ユニフォーム部門につきましては、官需・民需とも落札実績が昨年を下回った結果、売上高が前年同期を下回りました。

寝装品部門につきましては、当社独自素材であるEウールを活用した寝装品など健康医療関連商材が好調に推移した結果、売上高は前年同期を大きく上回りました。

この結果、繊維・アパレル事業の売上高は22億73百万円（前年同期比10.5%減）、営業損失は1億83百万円（前年同期は営業損失1億35百万円）となりました。

### 不動産事業

不動産事業につきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」の順調な集客力を背景に、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、不動産事業の売上高は12億7百万円（前年同期比1.6%増）となり、さらに減価償却費の減少もあり営業利益は4億53百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の事業別の売上高は次のとおりであります。

事業区分	売上高	前年同期比	構成比
繊維・アパレル事業	2,273百万円	△267百万円	65.3%
不動産事業	1,207百万円	+18百万円	34.7%
合計	3,481百万円	△249百万円	100.0%

金額は単位未満を切り捨てて、比率は単位未満を四捨五入して表示しております。

## 株式の状況

### 1. 株式の発行（平成25年9月30日現在）

発行可能株式総数	96,000,000株
発行済株式の総数	30,000,000株
株主総数	5,221名

### 2. 株式の分布状況（平成25年9月30日現在）

区分		株主数		株式数	
		名	%	株	%
所有者別	政府・地方公共団体	1	0.02	30	0.00
	金融機関	22	0.42	4,714,000	15.71
	証券会社	34	0.65	1,487,970	4.96
	事業法人・その他法人	70	1.34	1,564,901	5.22
	外国人	36	0.69	1,022,831	3.41
	個人・その他	5,058	96.88	21,210,268	70.70
株数別	1,000株未満	1,130	21.64	147,725	0.49
	1,000株以上	3,015	57.75	5,010,466	16.70
	5,000株以上	475	9.10	2,901,167	9.67
	10,000株以上	512	9.80	8,534,898	28.45
	50,000株以上	48	0.92	3,042,621	10.14
	100,000株以上	36	0.69	6,563,123	21.88
	500,000株以上	4	0.08	2,322,000	7.74
	1,000,000株以上	1	0.02	1,478,000	4.93
総計		5,221	100.00	30,000,000	100.00

(注) 上記所有者別の「個人・その他」および所有株数別の「50,000株以上」の中には、自己株式が株主数に1名、株式数に65,612株それぞれ含まれています。

## 従業員の状況

### ①企業集団の従業員の状況

事業区分	従業員数	前連結会計年度末比増減
繊維・アパレル事業	51 (461) 名	△5 (△102) 名
不動産事業	31 ( 0) 名	△1 (± 0) 名
全社(共通)	20 ( 1) 名	+3 (± 0) 名
合計	102 (462) 名	△3 (△102) 名

### ②当社の従業員の状況

従業員数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続年数
45 (11) 名	△1 (△3) 名	40.2歳	14.0年

(注) 1. 従業員数は就業人員であり、パートおよび契約社員は( )内に年間の平均人員を外数で記載しております。  
2. 全社(共通)と記載されている従業員数は、特定のセグメントに区分できない管理部門に所属しているものであります。

## 四半期連結貸借対照表

第2四半期連結会計期間  
(平成25年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>3,576,833</b>	<b>流動負債</b>	<b>4,005,393</b>
現金及び預金	1,367,703	支払手形及び買掛金	774,882
受取手形及び売掛金	1,067,314	短期借入金	2,299,504
たな卸資産	748,375	1年内償還予定の社債	100,000
その他	402,850	未払法人税等	27,838
貸倒引当金	△ 9,410	返品調整引当金	117,794
<b>固定資産</b>	<b>18,126,221</b>	賞与引当金	29,252
<b>有形固定資産</b>	<b>17,299,798</b>	その他	656,121
建物及び構築物(純額)	7,550,729	<b>固定負債</b>	<b>12,891,209</b>
土地	9,343,548	社 債	450,000
その他(純額)	405,519	長期借入金	6,315,228
<b>無形固定資産</b>	<b>89,472</b>	長期預り保証金	3,050,283
<b>投資その他の資産</b>	<b>736,951</b>	繰延税金負債	17,901
投資有価証券	349,189	再評価に係る繰延税金負債	2,575,733
破産更生債権等	127,526	退職給付引当金	193,751
その他	384,461	資産除去債務	56,009
貸倒引当金	△ 124,225	その他	232,301
<b>資産合計</b>	<b>21,703,055</b>	<b>負債合計</b>	<b>16,896,602</b>
		<b>(純資産の部)</b>	
		<b>株主資本</b>	<b>△ 432,006</b>
		資 本 金	1,500,000
		資 本 剰 余 金	503,375
		利 益 剰 余 金	△ 2,428,392
		自 己 株 式	△ 6,989
		その他の包括利益累計額	<b>4,724,525</b>
		その他有価証券評価差額金	22,641
		繰延ヘッジ損益	△ 153
		土地再評価差額金	4,628,550
		為替換算調整勘定	73,487
		<b>少数株主持分</b>	<b>513,933</b>
		<b>純資産合計</b>	<b>4,806,453</b>
		<b>負債純資産合計</b>	<b>21,703,055</b>

# 四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(平成25年4月1日から  
平成25年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	3,481,490
売 上 原 価	2,651,393
売 上 総 利 益	830,097
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	767,811
営 業 利 益	62,286
営 業 外 収 益	6,527
受 取 利 息	491
受 取 配 当 金	2,663
そ の 他	3,372
営 業 外 費 用	173,883
支 払 利 息	150,066
そ の 他	23,816
経 常 損 失	105,069
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 損 失	105,069
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	23,106
法 人 税 等 調 整 額	△ 269
法 人 税 等 合 計	22,836
少 数 株 主 損 益 調 整 前 四 半 期 純 損 失	127,905
少 数 株 主 損 失	20,669
四 半 期 純 損 失	107,236

# 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

第2四半期連結累計期間

(平成25年4月1日から  
平成25年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失	△ 105,069
減価償却費	239,716
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△ 1,200
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△ 28,524
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 2,729
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9,765
受取利息及び受取配当金	△ 3,155
支払利息	150,066
売上債権の増減額 (△は増加)	425,314
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 60,373
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 430,334
預り保証金の増減額 (△は減少)	△ 120,320
その他	△ 115,955
小計	△ 42,798
利息及び配当金の受取額	3,144
利息の支払額	△ 151,290
法人税等の支払額	△ 33,359
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 224,303
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△ 23,062
投資有価証券の取得による支出	△ 598
預け金の預入による支出	△ 321,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 344,661
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
担保提供預金の減少額	400,000
長期借入れによる収入	2,270,000
長期借入金の返済による支出	△ 2,186,788
社債の発行による収入	250,000
リース債務の返済による支出	△ 43,464
自己株式の増減額 (△は増加)	△ 18
財務活動によるキャッシュ・フロー	689,729
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>63,570</b>
<b>V 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>184,335</b>
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>1,093,231</b>
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>1,277,566</b>



## 会社の概要

- 創 立** 明治29年 2月27日
- 資 本 金** 1,500,000,000円（平成25年 9月30日現在）
- 本 社** 東京都中央区日本橋小舟町 6番 6号  
電話ダイヤル・イン 03(3665)7816（総務グループ）
- 名古屋営業所** 愛知県一宮市本町 4丁目17番 9号（明治産業第2ビル）  
電話0586（23）4811（代表）
- グループ会社**
- 大東紡寝装株式会社  
東京都中央区日本橋小舟町 6番 6号
  - 大東紡エステート株式会社  
静岡県駿東郡清水町玉川61番 2号
  - 株式会社ロッキングムペンタ  
東京都中央区日本橋小舟町 6番 6号
  - 新潟大東紡株式会社  
新潟県十日町市上野22
  - 寧波杉京服飾有限公司  
中華人民共和国浙江省寧波市鄞州区古林鎮鵝頸村杉杉路228
  - 上海大東紡織貿易有限公司  
中華人民共和国上海市長寧区仙露路369号現代広場 1号楼601号室

役員（平成25年9月30日現在）

取締役社長	国	広	伸	夫
取締役副社長	野	村	利	泰
取締役専務執行役員	山	内	一	裕
取締役上席執行役員	市	村	明	彦
取締役執行役員	小	松		茂
常勤監査役	加久間		雄	二
監査役	小	田	一	穂
監査役	飯	沼	春	樹
執行役員	今	井	康	隆
執行役員	菊	地	広	明

（注）監査役小田一穂氏および監査役飯沼春樹氏は、社外監査役であります。

## 主要商標

### アパレル

VALES VALEO —— ファッショングッズブランド

McHENRY —— トータルファッション


Eddy  
fin de semaine —— 大人の週末着

### テキスタイル

Karool<sup>カルール</sup>® —— 軽量織物

perset<sup>ペルセット</sup>® —— 再生ポリエステル使用織物

### 糸

 —— 加工工程で塩素を全く使用しない、世界初の製法でつくった人と地球環境に優しい新素材

### 寝装

VINTAGE® —— 高級寝装品

麻長崎® —— 高級バイオ麻ふとん

# 株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により公告 (ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合の 公告方法は、日本経済新聞に掲載して行う。)

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

- ・株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

# **daitobo**

ホームページアドレス  
<http://www.daitobo.co.jp/>

